

# わだの丘

学校だより 第514号 (令和4年1月31日発行)



<http://wada.maizuru.ed.jp>



1年箏曲授業より

## 第6波の感染拡大とたたかう

今年の舞鶴の冬は寒さが厳しく、雪の降る日も多くなっております。厳しい寒さとオミクロン株による感染拡大に伴うまん延防止等重点措置も相まって、心身ともにくつろげるような日々とはならない今日この頃ではありますが、暦の上では節分・立春を迎える頃となりました。保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、1月14日の朝たくさんの雪が降ったときには、数名の1年生の生徒たちが熱心に雪かきを手伝ってくれている姿を見て、大変うれしく思いました。協力してくれた1年生の皆さんありがとうございました。

舞鶴市内では感染拡大がいたるところで大きく影響を及ぼし、小・中学校でも感染予防対策の徹底に努めておりますが、厳しい対応を迫られております。このような状況の中ではありますが、ご家庭や地域の皆様のご協力のもと生徒たちは感染予防対策に対する意識をさらに高めて、授業に取り組み、なんとか本校では感染拡大することなく1月を終えようとしています。皆様に感謝いたします。特に3年生は大切な高校受験を控えており、日々の生活を一層緊張感あるものとし、進路実現に向け努力していただきたいと思います。

さて、先日、新聞にも掲載されておりましたが保健所の対応も感染拡大でひっ迫している状況にあり、濃厚接触者へは感染者本人から連絡をしてもらい、必要な対応を伝えてもらうシステムに移行しております。知らせを受けた人は濃厚接触者に当てはまるかどうか、自己判断し自主的に外出自粛や検査を受けてもらう大変難しい対応ではありますが、以前から感染拡大を防ぐためにも「発熱したらすぐ周囲に宣言する」という行動は大切だと言われておりました。そうすることでその周囲にいた人はより早い行動に移ることができます。自分以外に周囲にも行動自粛をお願いすることが感染拡大を防ぐ大きな対策と言えるのかもしれません。

各ご家庭におかれましては十分に感染予防をしながら、過ごされますことをお願い申し上げます。また、我々のできる感染予防の行動は医療従事者の皆様への協力や助けになることでもあります。生徒や教職員、そして関係の皆様のご健康と安心・安全を確保するために学校でも感染拡大のリスクをできる限り下げる工夫をしながら、取り組んでまいりたいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

校長 荒賀 洋



### 「いじめめることは人間として絶対に許されない」

＜いじめアンケートについて＞

昨年11月初旬に今年度2回目のいじめに関するアンケートをとり、二者懇談や生活アンケートも実施し、生徒に嫌な思いをしたことや困っていることなどを尋ねました。その中で、1学期の6月調査(5件)以降にいじめを受けたと思った件数は1年生0件、2年生2件、3年生2件の合計4件でした。いじめの各態様(6件)は次のとおりです。

- 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる(2)
- 仲間はずれ、集団による無視をされる(1)
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする(2)
- その他(1)

学校では、複数でアンケートに目を通し、その後、担任が面談をしました。今は無くなっている事象もありますが、スマホなどによるSNSのトラブルをはじめ、冷やかしかからかい、悪口や脅し文句を言われる、仲間はずれにされるなどいつ再発するか分からない事象もあり、引き続き様子を見ています。「いじめはいつ、どこでも、起こりうる」ものです。生徒の心に寄り添いながら、教師と生徒が話をしやすい環境づくりなど教育相談を充実させ、早期発見・対応するよう取組を進め、安心・安全な学校生活の確保に努めます。そして、一人一人の生徒が次の目標を持って4月を迎えられるよう教職員一同努めてまいります。保護者・地域の皆様、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。